

エコアクション21 環境活動レポート

2019年度版

(2018年10月～2019年 9月)



2019年12月 6日



中村建設株式会社

NAKAMURA CONSTRUCTION, INC.

目 次

I.環境方針	1
II.組織・活動	2
1. 組織の概要	2
2. 認証・登録の対象範囲	2
III. 環境目標とその実績	3
IV. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容	4
1. 二酸化炭素排出量の削減	4
2. 廃棄物排出量の削減	4
3. 水使用量の削減	5
4. グリーン購入の推進	5
5. 地域社会貢献活動	5
6. 化学物質使用量の適正管理	5
V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	
並びに違反、訴訟等の有無	7
VI. 代表者による全体評価と見直しの結果	7

I. 環 境 方 針

<基本理念>

「私たちは、建築物の創造を通して豊かな社会づくりに貢献いたします」
わが社は、上記理念の下に、積極的に環境問題に取り組み、環境改善を図り、広く地域社会に貢献できる取組みを推進いたします。

<基本方針>

1. 環境経営システムを構築し、以下の事項を重点的なテーマとして取組めます。
 - (1) 電力、燃料使用量の削減に心がけ、二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減とリサイクルの推進
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 事務用品のグリーン購入の推進
2. 事業に関係する環境関連法規を遵守します。
3. 環境方針を全社員に周知し、環境負荷に対する意識向上に努めます。
4. 地域の環境保全活動を実施し、地域の環境保全に貢献します。
5. 化学物質等を使用する場合は、適正な管理を行います。

2013年 9月25日制定

2018年10月 1日改訂

中村建設株式会社

代表取締役 **山下隆吉**

Ⅱ. 組織・活動

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

中村建設株式会社
代表取締役 山下 隆吉

(2) 所在地

〒810-0034 福岡市中央区笹丘一丁目3番9号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 取締役営業部長 宗田淳一
担当者 総務部 野上 裕 TEL 092-771-6131
FAX 092-741-5285
E-mail souta@nakacon.co.jp

(4) 事業内容

a) 特定建設業 福岡県知事 許可(特-27)第100472号
(建築工事業、土木工事業、とび土工工事業
解体工事業)
b) 宅地建物取引業 福岡県知事登録 (13)第3620号
c) 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11712号
URL <http://www.nakacon.co.jp>

(5) 事業規模

従業員 37人
延べ床面積 1,248.67 m²

(6) 事業年度

10月～翌年9月

(7) 設立年月日

1952年9月15日

(8) 資本金

9,000万円

2. 認証・登録の対象範囲

(1) 対象組織： 中村建設株式会社

(2) 対象活動： 特定建設業(建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業
解体工事業)
一級建築士事務所業務、宅地建物取引業
(全組織及び全活動を対象とする)

Ⅲ. 環境目標とその実績

- ・環境目標は、当社の事業活動を踏まえて、以下に示す5項目（サブ項目を含めると10項目）についてサイト区分し、単年度と中長期計画で数値目標を設定した。
- ・2019年度は、産業廃棄物のリサイクル率の向上だけが達成出来なかった。化石燃料使用量については、車両1台が軽油車に変更した為軽油の量は増えたが、トータルでは削減出来た。

環境目標	サイト区分	単位	直近3年平均 (基準値)	2019年度 (2018.10~2019.9)		2020年度	2021年度
			実績	目標	実績	目標	目標
1 二酸化炭素排出量の削減 (1) + (2)	事務所 +現場	kg-CO ₂	142,312	141,600 (-0.5%)	117,082 (121%) ○	140,888 (-1.0%)	140,177 (-1.5%)
(1) 電気使用量の削減	事務所	kWh	37,942	37,752 (-0.5%)	30,861 (122%) ○	37,562 (-1.0%)	37,372 (-1.5%)
	現場	kWh	64,029	63,708 (-0.5%)	46,300 (138%) ○	63,388 (-1.0%)	63,068 (-1.5%)
(2) 化石燃料使用量の削減	事務所 +現場	L	34,899	34,724 (-0.5%)	30,193 (116%) ○	34,550 (-1.0%)	34,375 (-1.5%)
2. 廃棄物排出量の削減							
(1) 産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	%	83.28	83.28 現状維持	81.9 (98%) △	83.28 現状維持	83.28 現状維持
(2) 一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	1.47	1.46 (-0.5%)	1.42 (104%) ○	1.45 (-1.0%)	1.44 (-1.5%)
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	250	248 (-0.5%)	216 (115%) ○	247 (-1.0%)	246 (-1.5%)
4. グリーン購入の推進 (品目を増やしていく)	事務所	品目数	7	7	9 (129%) ○	8	9
5. 地域社会貢献活動	事務所	事務所周りの清掃活動（雨の日以外の営業日）、地域貢献活動（2回以上）○					
	現場	現場周りの清掃活動（一斉清掃日）○					

※二酸化炭素排出量の削減において、購入電力量の実排出係数は0.598 kg-CO₂/kWh

（九州電力2014年度）を使用しています。

※直近3年平均値 基準値の期間（2015年10月～2018年9月）

※（ ）は基準値に対する増減率を示す。

※化学物質については、下請管理で使用把握が困難な為環境目標化は行わず、環境活動計画の取組項目に位置付けて対応することとした。

※目標達成判定 目標達成率換算で、○達成できた（100%以上） △努力を要する（80%）
×達成していない（80%未満）

IV. 環境活動計画及び取組結果と評価並びに次年度の取組内容

・環境目標を達成する為に策定した環境活動計画と本年度の取組結果、次年度の取組方針は、以下に示すとおりである。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	サイト 区分	達成 状況	活動項目	実施 状況	評 価
(1) 電気使用量の削減 (-0.5%)	事務所 現場	○	冷房温度 28℃程度 暖房温度 22℃程度 空調機のフィルター清掃	○ ○ ○	こまめに調整 25℃設定、室温 22℃ 年末清掃
(2) 化石燃料使用量の 削減 (-0.5%)	事務所 現場	○	ゆっくりアクセル 早めのアクセルオフ 空気圧のチェック エアコン控えめ 公共交通機関の利用	○ ○ ○ ○ ○	社内例会にて指示 年末一斉点検

- ・昨年度末に、事務所の照明を LED に交換したことにより、電気使用量の削減が出来た。電気料金も昨年と比較して、14万6千円ほど削減できた。空調機の始動開始時間を設定、担当者によるこまめな室温調整を図ることにより月次で比較しても削減が出来ていて達成できた。クールビズの期間の再延長を行っている。
- ・今後共、始動開始時間、空調機の温度をこまめに調整し管理していく。
- ・エコカー導入を行い、燃料削減を図る一方、毎月社員への呼びかけを継続して、エコドライブへの意識付を行っている。車両1台が軽油車に変更した為軽油の量が増加したが、トータルでは減少し目標を達成している。
- ・今後共、引き続きエコカー導入を進めると同時に、エコドライブ意識の定着化を図ってゆく。

2. 廃棄物排出量の削減

取組対象	サイト 区分	達成 状況	活動項目	実施 状況	評 価
(1) 産業廃棄物のリサイクル率向上 (現状維持)	現場	△	混合廃棄物の抑制努力 マニフェストによる適正処理	○ ○	現場状況により混載にて処分 現場にて管理
(2) 一般廃棄物排出量の削減 (-0.5%)	事務所	○	紙のリサイクル プリンターのカートリッジの回収	○ ○	分別の徹底 回収の徹底

- ・本年度は、大型の5現場で分別収集スペースの確保を行ったが、竣工現場と着工現場があった為、混載処分となり、産廃リサイクル率の向上は達成することが出来なかった。
- ・今後共、現場での指導を行い、早い時期に分別スペース確保させ、リサイクル率を

向上させていく。

- ・一般廃棄物排出量に関しては、月々の一般廃棄排出量は前年度比数量より減少、紙類の分別収集を徹底した結果 1,210kg のリサイクル化を行うことが出来た。
- ・今後共、一般廃棄排出量の削減及び、ペーパーリサイクルに努める。

3. 水使用量の削減

取組対象	サイト区分	達成状況	活動項目	実施状況	評価
(1) 水使用量の削減 (-0.5%)	事務所	○	バルブ調整	○	バルブ調整確認

- ・小便器の自動水栓を手動に切替えることにより、水使用量の削減を図ることが出来た。
- ・今後共、こまめなバルブ調整の管理を行う。

4. グリーン購入の推進

取組対象	サイト区分	達成状況	活動項目	実施状況	評価
(1) グリーン購入品目を増やす	事務所	○	カタログにてグリーン商品(エコ商品)の選択	○	書類整理ボックス

- ・本年度は、事務用品のエコ商品（9品目）の購入を行った。
- ・今後共、グリーン商品（エコ商品）の継続購入及び、品目を増やす。

5. 地域社会貢献活動

取組対象	サイト区分	達成状況	活動項目
地域社会貢献活動	事務所	○	事務所周りの清掃活動（雨の日以外の営業日）、地域貢献活動（2回以上）
	現場	○	現場周りの清掃活動（一斉清掃日）

- ・事務所周りの清掃活動は、営業日330日のうち291日行った。雨の日が39日
- ・地域貢献活動では、11月17日福岡県建設業協会による天神清掃に参加
- 10月13日九電商友会による和白干潟清掃に参加
- ・5現場で、月1回の一斉清掃を行った。
- ・今後共、地域貢献活動を行っていく。

6. 化学物質の適正管理

取組対象	サイト区分	達成状況	活動項目	実施状況	評価
(1) 化学物質の適正管理	事務所	—	SDSの取り寄せ	○	現場にて管理

- ・本年度は、5現場で製品安全データシート（SDS）を取り寄せて適正管理を行った。
- ・今後共、取り寄せて管理を行う。

<その他の環境活動の紹介>



事務所周り清掃



天神清掃活動



和白干潟清掃活動



工事現場周り清掃



事務所前の一人一花運動



事務所前の一人一花運動

<次年度の重点的に取り組む環境活動計画等>

- ・一般廃棄物のリサイクル率増加。
- ・事務所の電気使用量の管理。
- ・グリーン（エコ商品）購入品目増及び継続使用を行う。
- ・地域貢献活動の一環として、清掃活動に年間2回以上の参加を行う。

V. 環境関連法規等の遵守状況及び評価並びに違反、訴訟等の有無

- ・2019年10月に下記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去6年間ありませんでした。

適用される法律規制等	適用される事項
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物
騒音規制法	コンプレッサー

VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・二酸化炭素排出量削減は、昨年度末に、照明器具をLEDに交換し電力消費量の削減を図り、空調機の使用開始時間を設定し室温管理に留意した結果、月次の電量使用量は前年比でも減少し、14万6千円も削減できた。
- ・今後共、最大電力の管理及び月次電力使用量の比較を継続的に行い、削減を図ってゆくこと。
- ・化石燃料使用量の削減に関しては、エコカーの導入（計6台入替済）を図り、環境改善を図っていたが、車両1台軽油車に変更した為軽油の量が増加したが、トータルでの使用量は昨年度より減少している。
- ・今後共、車両入替時のエコカー導入を推進すると同時に、エコドライブの定着化を心がけること。
- ・ISO9001においても、引き続き品質目標に一般廃棄物削減を掲げ、推進委員による月次比較を実施し分別収集を徹底したので、前年比で一般廃棄物は減少であった、紙の分別収集の徹底により1,210kgのリサイクル処理することが出来ている。
- ・今後共、継続的に対前年度同月比較を継続し、月次削減を図ること。
- ・加えて、グリーン（エコ商品）購入品目を増やす努力を行うこと。
- ・地域貢献活動の一環として、事務所周り、現場周りの清掃活動が行われている。
- ・今後共、清掃活動に心がけること。

以上